

10 公益財団法人慶長遣欧使節船協会

1 基本情報

所在地	石巻市渡波字大森30-2			代表者	代表理事 一力 雅彦			
電話	0225-24-2210	ファックス	0225-97-3399	ホームページ	https://www.santjuan.or.jp/			
設立	平成4年1月22日	改革分類	自立支援団体	県担当課	環境生活部 消費生活・文化課			
出資等の状況	第1位	宮城県 (50.0%)	第2位	石巻市 (50.0%)	第3位	- (-)	その他	- (-)
		500,000 千円		500,000 千円		- 千円	- 千円	
設立目的(定款等)	慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的実績並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供することにより、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与する。					出資等総額	1,000,000 千円 (100.0%)	

2 主な事業内容

事業名	事業費 (単位:千円)			事業内容
	27年度	28年度	29年度	
事業1 管理運営事業	231,884	186,979	185,760	宮城県慶長使節船ミュージアム、復元船サン・ファン・パウティスタ及び石巻市サン・ファン・パウティスタパークの管理運営
全体事業に占める割合	93.6%	94.0%	93.2%	
事業2 企画事業	10,574	8,597	9,761	宮城県慶長使節船ミュージアムの常設展示以外に、特別展・企画展を開催するほか、各種イベント開催
全体事業に占める割合	4.3%	4.3%	4.9%	
事業3 サン・ファンショップ運営事業	5,291	3,329	3,815	宮城県慶長使節船ミュージアム内に設置されているサン・ファンショップの運営
全体事業に占める割合	2.1%	1.7%	1.9%	
その他の事業				
全体事業費	247,749	198,905	199,336	指定管理者 宮城県慶長使節船ミュージアム
全体割合	100.0%	100.0%	100.0%	

3 評価

(1) 団体の使命・役割

現在の団体としての公益的使命・役割・目標	県が期待する団体の役割(県施策との関連等)
当協会は、貴重な県民の財産である復元船の維持管理やミュージアムの管理運営を行っており、慶長遣欧使節に関する調査研究や資料の収集・展示、船舶及び海洋に関する資料の収集・展示、海事思想の普及啓蒙を行い、学習・体験の場を提供するとともに、関係する諸外国との友好促進に努めている。	○ミュージアム及び復元船を適切に維持管理しながら、より効果的・効率的な施設運営に取り組むこと。 ○慶長遣欧使節等の歴史的偉業の発信や、普及啓蒙を推進するほか、地元団体等との連携や各種企画により施設の魅力を向上させ、集客力の向上に努めること。

(2) (1)に対する団体の自己評価及び県の所見(29年度)

団体による自己評価	県(主務課)の所見
復元船の構造体である肋骨材の腐朽が顕著で危険な状態であることから、万一の場合に備え、平成28年3月から来館者の乗船及びドック棟への立入禁止措置をとっており、平成28年度に来館者は大きく減少したが、展望棟ロビーでの「東日本大震災コーナー」の設置や帆船模型の展示などにより、平成29年度は、対前年比20.7%(H28.: 26,418人→H29.: 31,886人)の増加となった。 今後も展望棟を活用した展示の見直し拡充を図るなど来館者の増加に努めたい。	復元船への乗船及びドック棟への立入禁止措置後に来館者数は大きく落ち込んだが、平成29年度は展望棟ロビーの展示スペースとしての活用やARコンテンツの導入など施設の魅力向上に努め、前年度から大幅に来館者数が増加した。 今後も、引き続き展示内容の充実を図り、来館者の満足度向上に努めるとともに、現在県が検討を進めている2020年以降のミュージアムの今後の在り方を踏まえた管理運営が求められる。

(3) 団体に対する総合評価(29年度)

項目	団体による自己評価	県(主務課)の所見	参考指標
イ 組織運営の健全性 ※1	プロパー職員による組織運営の統制及び効率性を図るため、各種規程を整備するとともに、会計経理については、有資格者を雇用し、公認会計士の指導を受け適正な会計処理に努めている。 また、情報公開については、定款、決算及び予算関係書類をホームページで公開し、業務運営の透明化に努めている。	組織統制や経理、情報公開関係への取組みについては概ね評価できるものとなっているが、コンプライアンスや内部統制関連規程については、整備に向けて、引き続き指導を行っていく。	B
ロ 財務の健全性 ※1	2期連続で一般正味財産増減額がマイナスとなっているが、これは復元船の腐朽進行に伴い、復元船の乗船見学を中止したことによる利用料金の減少及び来館者の増加対策として実施した展望棟ロビーでの展示拡充業務委託料の増加によるものである。なお、収支償償の基準は満たしている。	一般正味財産は微減となっているが、正味財産比率や流動比率は高く、経営基盤は安定している。 今後は、来館者増の取組みを引き続き推進するほか、経費支出の軽減も併せて図り、より安定した経営となるよう指導していく。	B
(2)及び上記イ・ロを踏まえた総合評価・今後の方向性と課題	今後も企画展の充実実施及び展望棟ロビーでの展示替えを定期的に行い来館者の増加に努めていくこととするが、展示スペースの拡充には限界がある。 現在、宮城県で設置した「ミュージアムの今後のあり方検討委員会」での検討結果を踏まえ、さらなる誘客に努めていきたい。	来館者数増加策としては企画展の充実等、各種誘客策の効果が出ており、継続して実施することが望まれる。また、財務状況については、誘客策の実施と経費節減の努力を進めていくことで改善が見込まれる。 今後は、県で検討しているミュージアムの今後の在り方も踏まえながら、課題解決に向けた助言・指導を行っていく。	総合評価 B

※1 上記イ及びロにおける「団体による自己評価」「県(主務課)の所見」及び「参考指標」は、それぞれの項目に係る経営評価指標に基づき記載しているもの。

4 経営状況 (単位:千円)

区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	増減(29-28)
貸借対照表	資産合計	1,254,038	1,232,205	1,253,686	21,481
	流動資産	99,959	108,545	109,543	998
	固定資産	1,154,079	1,123,660	1,144,143	20,483
	うち基本財産	1,143,407	1,114,872	1,137,775	22,903
	負債合計	6,630	13,777	13,605	△ 172
	流動負債	6,630	13,777	13,605	△ 172
	固定負債	0	0	0	0
	うち長期借入金	0	0	0	0
	正味財産合計	1,247,409	1,218,428	1,240,081	21,653
	指定正味財産	1,143,407	1,114,872	1,137,774	22,902
一般正味財産	104,002	103,556	102,307	△ 1,249	
正味財産増減計算書	経常収益	220,686	198,531	198,159	△ 372
	うち事業収益	202,275	183,266	183,966	700
	経常費用	247,749	198,905	199,336	431
	うち管理費	8,640	5,537	5,635	98
	評価損益等調整前当期経常増減額	△ 27,063	△ 374	△ 1,177	△ 803
	当期経常増減額	28,501	△ 374	△ 1,177	△ 803
	経常外収益	0	0	0	0
	経常外費用	0	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	28,429	△ 446	△ 1,249	△ 803
当期指定正味財産増減額	62,527	△ 28,535	22,902	51,437	
当期正味財産増減額	90,956	△ 28,981	21,653	50,634	
県の財政的関与	補助金	0	0	0	0
	委託金 ※2	157,411	140,045	140,125	80
	負担金	0	0	0	0
	補助金等合計	157,411	140,045	140,125	80
	総収入 ※3	283,213	198,531	221,061	22,530
	総収入に対する補助金等割合	55.6%	70.5%	63.4%	
	単年度貸付額	0	0	0	0
	年度末貸付金残高	0	0	0	0
損失補償(債務保証)残高	0	0	0	0	

※2 委託金:随意契約によるものが対象。指定管理者制度に係る管理委託料は、非公募により選定された場合が対象。
(なお、非公募で指定管理者となった団体に利用料金収入がある場合は、利用料金収入を含めた額を計上している。)

※3 総収入=経常収益+経常外収益+当期指定正味財産増減額【正味財産増減計算書】

5 主な経営指標

評価項目	算式等	平成27年度	平成28年度	平成29年度	増減(29-28)
正味財産比率	正味財産合計÷資産合計(純資産)×100	99.5%	98.9%	98.9%	0.0%
流動比率	流動資産÷流動負債×100	1507.7%	787.9%	805.2%	17.3%
借入金依存度	(長期借入金+短期借入金)÷資産合計(総資産)×100	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
経常利益率	当期経常増減額÷経常収益×100	12.9%	-0.2%	-0.6%	-0.4%
管理費比率	管理費÷経常収益×100	3.9%	2.8%	2.8%	0.0%

6 組織・役職員の状況

(人)

役職員の人数		平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (6月末現在)	29年度における 常勤役職員の状況	
役員	常勤 (うち県OB)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	常勤役員	
	非常勤 (うち県OB)	11 (0)	11 (0)	11 (0)	平均年齢	-
職員	常勤職員 (※4)	10	9	9	平均年収 (千円)	-
	プロパー職員	9	8	8	常勤職員(プロパー)	
	県OB	1	1	1	平均年齢	45.2
	県派遣職員	0	0	0	平均年収 (千円)	3,710
	その他の派遣職員	0	0	0		
上記以外の職員(※5)	9	9	8			

※4 常勤職員:プロパー職員、県派遣・県OB、その他の派遣職員(県以外の自治体、民間企業等)を指すもの。

※5 上記以外の職員:任期付職員、契約社員、嘱託、非常勤職員、臨時職員及びパート・アルバイト等、常勤職員に該当しない職員の合計を指すもの。